

# せと・しごと塾総括

(第8期、平成27年度)

せと・しごと塾  
塾長 小坂 英雄

<目次>

1. サマリー
2. せと・しごと塾の目標
3. カリキュラム
4. 役割分担
5. 個別相談について
6. 第8期の成果
7. 8期生の受講後の感想（卒塾時アンケートより）
8. 課題（平成28年度に向けて）
9. 最後に



(8期生の新商品開発会議風景)

## 1. サマリー

せと・しごと塾の概要をご紹介します。

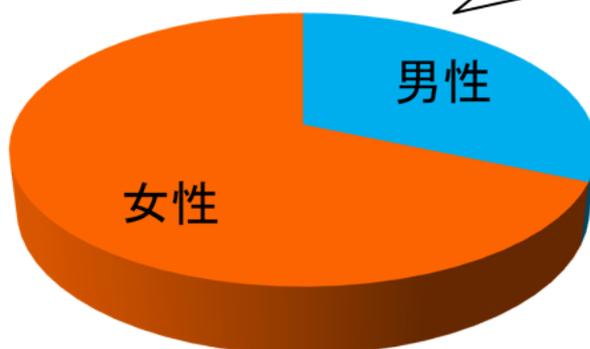
下図の通り、女性比率が7割で、開業割合は54.8%です。

第8期は、男性2名、女性9名、合計11名が卒塾しました。

開業割合は、8年間で146名の卒塾生のうち、77名が開業しています。

### 男女比

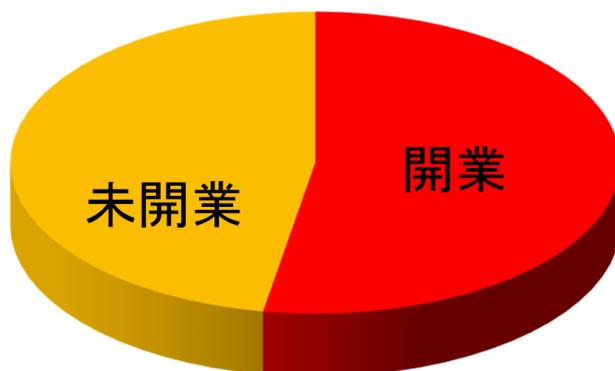
女性比率**7割**



男性45名 女性101名(合計146名)

男性30.8%、女性69.2%

### 開業割合



開業77名 未開業69名(2016.3月)

開業率54.8%

## 2. せと・しごと塾の目標

せと・しごと塾は、平成20年度の開講以来8年間、次のような理念のもと、運営されています。

地域のニーズや課題をビジネスとして継続的に取り組む「地域ビジネス」の創業を目指す市民のみなさんに、地域ビジネスを創業するために必要となる知識等を学ぶ機会を提供することで、就業の1つである起業が創出される環境づくりを図り、地域経済の発展につなげること

- ① 「地域のニーズや課題をビジネスとして」・・・地元の問題を探し、解決方法を考える
- ② 「継続的に取り組む」・・・持続するための思い、継続させる力を養成する
- ③ 「知識等を学ぶ機会を提供」・・・カリキュラム+個別相談で、その機会を提供する
- ④ 「起業が創出される環境づくり」・・・課題に対して前向きな行動を生む風土にする

これらの理念を実現できるよう、塾の運営を行ってきました。

起業支援にも様々な形があるかと思います。塾においては、起業を志す一人ひとりが主体的に課題を発見し、その解決に向けて行動し、その結果地域貢献にもつながるという理想を追い求めています。第8期も引き続き上記の理念を実現するために起業家の「自立」「挑戦」「(地域・周囲への)貢献」を強く意識して、塾の運営をしてきました。このような意識を持ってくれる起業家を多く輩出すれば、活気のある街が形成されると考えます。

### ◆せと・しごと塾の3つの理念

自立	挑戦	地域貢献
安易に他者依存しない 自ら積極的に考え、行動する 課題解決を主体的に考える	新しい挑戦をする 苦手なことに敢えて取り組む 与えられた環境の中でベストを尽くす	周囲への貢献 他の塾生への貢献 お客様への貢献 社会への貢献

「大勢の前で事業計画のプレゼンをしたが、恥ずかしい思いをしてしまった」、「初めての商談が大失敗に終わってしまった」など、失敗の経験も必要です。挑戦の数だけ失敗もあります。起業においては、致命的な失敗は避けなければなりません、小さな失敗はむしろ早い時期に多く経験する方が良いと言われています。

### 3. カリキュラム

#### (1) バリエティに富んだカリキュラム

塾では、起業家を支援するために、個別相談に加えて、バラエティに富んだカリキュラムを用意しています。第8期に実施した内容は、以下の通りです。

#### ◆カリキュラム

日程	曜日	時 間	講 師	内 容
7月 1日	水	14:00 ~ 14:30	開講式	
		14:45 ~ 16:45	小坂英雄（塾長） ATELIER TRE 井口敦子	女性起業家の話
7月 9日	木	11:15 ~ 11:45	名古屋学院大学 現代社会学部長 小林甲一	せと・しごと塾について
7月 9日	木	13:00 ~ 15:30	さわ経営研究室 代表 澤 芳美	起業家の心構え
7月 13日	月	10:00 ~ 15:00	小坂英雄（塾長）	創業に向けて 起業家スキルUP講座
7月 16日	木	13:00 ~ 15:00	JUNO 代表 柴田朋子	セールスポイント発見講座
7月 23日	木	10:00 ~ 15:00	瀬戸信用金庫 （中小企業診断士）	事業計画作成知識 ・経営理念、マーケティング ・資金計画、損益計画など
7月 28日	火			グループワーク ～事業計画書作成～
7月 30日	木			
8月 4日	火			
8月 6日	木			
8月 31日	月	13:30 ~ 16:00	事業概要発表会（3分間の事業PR）	
9月 10日	木	10:00 ~ 15:00	小坂英雄（塾長）	プレゼンテーション講座
9月 17日	木	10:00 ~ 12:00	石川一志（税理士）	開業手続き、税務・経理知識
9月 17日	木	13:00 ~ 15:00	瀬戸商工会議所	税務・経理実践セミナー
10月 8日	木	13:00 ~ 15:00	（株）スピード 代表取締役 岩木勇一郎	地元経営者の話（特別講座）
10月 14日	水	13:00 ~ 16:00	愛知県信用保証協会	融資担当者が教える事業計画書のポイント
			日本政策金融公庫	新規開業者の実態について
			瀬戸商工会議所	瀬戸商工会議所の紹介
10月 29日	木	10:00 ~ 12:00	小坂英雄（塾長）	売り上げアップ実践講座
10月 29日	木	13:00 ~ 15:00	小坂英雄（塾長）	事業計画書ブラッシュアップ講座
11月 19日	木	10:30 ~ 15:30	事業計画発表会（5分間の事業PR）	
		16:00 ~ 16:30	卒塾式	

座学で学んだことをアウトプットするプレゼンテーションの場が定期的に用意されてい

ることが一つの特徴です。事業を立ち上げるということは、自己アピールをしなければなりません。塾生が互いにプレゼンテーションを発表し合うことにより、自分の足りないこと、優れていることを発見できる機会にしています。他者の発表を聞くことにより、刺激を受けることはとても重要です。

#### ◆個人相談

年度内に個人相談日を34日設定し、塾生の事業に関して個別相談を受ける体制を整備しています。

個人相談日：34日（128時間） 相談件数：146件

（担当：小坂 英雄・・・26日 柴田 朋子・・・8日）

相談日だけでなく、瀬戸市産業課、瀬戸商工会議所、瀬戸信用金庫など、事務局に対し随時事業に関する相談が寄せられています。瀬戸市の創業支援事業計画（平成27年5月経済産業省認定）に基づき、事務局が一体となって塾生の支援に取り組んでいます。

## 4. 役割分担

塾では多彩なメンバーがチームを組んで塾生を支援しています。入塾審査の時点から支援方針を共有し、それぞれのメンバーが異なる手法で塾生を支援しています。このサポートチームの存在により、塾生それぞれの事業に対して、様々な観点でアドバイスすることを可能にしています。以下、第8期のサポートメンバーを紹介します（敬称略）。

### （1）事務局（瀬戸市交流活力部産業課、瀬戸商工会議所）

瀬戸市が塾の運営全般を担当します。カリキュラムの運営、事務連絡に加え、塾生の創業への不安などの相談に乗っています。塾生の相談のナビゲート役です。

瀬戸商工会議所は、卒塾後も塾生を支援。経営革新塾やIT活用などの各種セミナーや、税務相談等の経営相談を行っており、スタートアップをスムーズにさせるための数多くの取り組みを行っています。最近では、小規模企業に人気の「小規模事業者持続化補助金」の指導でも力を発揮しています。

### （2）塾長（有限会社起業経営研究所 小坂英雄）

個別相談と起業家スキルUP講座、プレゼンテーション講座などを担当。塾生の情報が多く集まるので、できるだけ共有するようにしています。相談事項は、カルテに残しておきます。基本的にどのような相談でもお受けしています。「知識を与える」ことを主眼に置くのではなく、なるべく「行動を促す」ようにアドバイスをしよう心がけています。

### （3）瀬戸信用金庫（佐野真隆、中島康介）

開講後の5回の事業計画書セミナーを担当。このワークを通じて、塾生のみなさんがお互いに打ち解け合います。セミナー後は、主に資金調達面の相談に乗っています。卒塾生専用の融資商品も用意しています。最近では、増加しつつあるクラウドファンディングの紹介も実施しています。

(5) 講師陣

- ①さわ経営研究所 澤 芳美  
起業家の心構え講座を担当
- ②税理士法人ちゅうぶ税経 代表社員 石川 一志  
開業手続、税務知識の講座を担当
- ③JUNO 代表 柴田 朋子  
セールスポイント発見講座を担当

(6) 瀬戸市他部署

- ①産業課（商業金融係）  
商店街への出店情報や瀬戸市内のイベント情報、制度融資情報などを提供しています。
- ②交流学び課  
市主催のセミナーの紹介など、塾生のスキルアップにつながる情報を提供しています。

(7) 顧問（名古屋学院大学 教授 小林甲一）

塾のプランニング、「せと・しごと塾について」講義を担当。随時塾生に有用な情報を提供しています。

(8) 塾生

塾生同士の交流が塾を支え、「元気で明るい場所」を形成しています。入塾時は偶然集まって面識のないみなさまですが、半年間机を並べることにより、徐々に居心地の良い空間を作っていきます。アンケート結果を見ても、この偶然の出会いが財産となったとコメントする方が多く見られます。

第8期も、わくWORKパークをはじめ、塾生企画や塾生の参加するイベントが瀬戸で数多く開催されました。



(2015. 11. 21 わく WORK パークの様子)

## 5. 個別相談について

### (1) 相談のスタンス

起業はあくまで手段です。生活を作りたい人もいれば、趣味の延長線上で起業を考える人もいます。まずは塾生の悩みをじっくり聴き、それぞれの価値観を尊重してアドバイスをします。型にはめて「こうすべき」などと、私の考え方を押しつけないように意識してきました。時には、あえて答えを出さずに、自分で行動してもらうことを促すようにしています。行動を促すような課題を多く出し、塾生は新しいことにチャレンジする機会が与えられます。新しいこと、できないことにまず挑戦しようという気持ちが大事です。課題をクリアしたときに、一步前進したことを塾生自身が実感し、自信がきます。そして次の挑戦へとつながっていきます。この成功体験の積み重ねが、人を育て、瀬戸の「人づくり」につながると確信しています。

起業という側面で言えば、供給過剰の時代、商品・サービスの「売り」を持っていないと、塾生の事業は受け入れられません。この「売り」については常に重点を置いて相談を受けています。事業計画を練って、「現在出来上がっているものをどのように受け入れてもらうか」ではいけません。事業構想を練り直し、頭を柔らかくすることが重要です。既に開業している事業者であれば、経営のイノベーションが必要です。お客様の方を向いて、現在のものをどれだけブラッシュアップしていくかで事業の継続性が決まります。

### (2) 実際の相談内容

塾生の相談としては、以下のようなものがありました。

- ①事業計画書をどのように作っていけばよいのですか？
- ②事業計画書に書く売上の予測が全然できません。
- ③競合企業のサービスをどのように調べるのですか？
- ④チラシを作ったのですが、見てもらえますか？
- ⑤補助金申請の計画書を作ったので、見てください。
- ⑥見積書、請求書を出してくれと言われましたが、これで大丈夫ですか？
- ⑦自社のことを新聞に載せてもらうことなどできるのですか？
- ⑧会社名、屋号のネーミングを考えたいのですが。
- ⑨ホームページを作りたいのですが、どのようにすればよいのでしょうか？
- ⑩ブログ、Facebook、Instagramは本当に効果があるのですか？
- ⑪WordやPowerpointの使い方を教えてください。
- ⑫人脈はどのように作っていったらよいのでしょうか？
- ⑬チャンスを活かすためには、どんな動きをしていけばよいのでしょうか？
- ⑭営業をどのようにすればよいか、全く分かりません。
- ⑮法人か個人事業か、自分の場合はどちらが適しているか教えてください。
- ⑯価格をどのように設定したらよいか分かりません。
- ⑰ネットショップをオープンしたいのですが、どのようにすればよいのでしょうか？

その他、多岐にわたる相談を受けています。起業に際しては、メンタル面のケアも重要です。生活が大きく変化する可能性があり、不安と恐怖の戦いになることもよくあります。

## 6. 第8期の成果

第8期は11名が卒塾、塾の開催期間中に起業・第二創業した方、現在本格的に起業準備を進めている方、構想を練り直している方など、それぞれの道に進んでいます。塾生の成果としては、後述「6. 8期生の受講後の感想」の他、下記が挙げられます。

塾生の成果	人数	説明
起業（正式開業）を実現	2	ピザショップ開業（移動店舗、固定店舗） 陶器企画販売事業の開業
第二創業（新事業）を実現	1	アートバルーン事業の立ち上げ
新商品開発	2	新商品の焼菓子を開発 雑貨品のデザイン、開発
経営改善、創業準備段階	6	ペット事業の検討 音楽事業のテストマーケティング 認知症カフェの事業可能性模索 特許製品の研究開発 整理収納事業の開業 幼児向け育脳事業の開業
合計	11	



(Badfish Pizza 現在土岐の道の駅「まちゆい」に出店中)



(no.9 荒田さんの新商品は土産物推奨品に認定！)



(瀬田さんのアートバルーン「ファンタジーフラワー」はSNS経由で全国的に注文が広がりつつあります)



(八田さんは整理収納事業を順調に拡大中)

また、塾全体としては次のような成果がありました。

- (1) 温かいコミュニティの形成・・・塾生間の応援・励まし、新商品開発の作戦会議など
- (2) プレゼン効果・・・自分に自信を持つための準備、表現力の向上
- (3) グループワーク・・・塾生のコミュニケーションを深める大きな効果あり
- (4) 市、会議所、瀬戸信等の支援者との連携・・・各種セミナー等卒塾後の支援体制も充実
- (5) 外部セミナーの積極参加・・・情報収集を積極的にするよう促しています
- (6) 瀬戸市や行政に対する考えの変化・・・行政の取り組みの一端を知ってもらえました
- (7) 開業者・・・卒塾 146 名、うち開業者 80 名（1～8 期累計、入塾時開業者 29 名含む）
- (8) 雇用効果・・・上記卒塾生による雇用効果 117 名（市内 95 名、事業主本人含む）
- (9) 多くのマスコミ取材・・・中日新聞、GCTV、中部経済新聞、Radio SANQ 等
- (10) 塾生間の刺激・・・他者の挑戦に刺激を受けるという場面が多々見られました



(2015. 11. 19 卒塾時事業計画発表会風景)



(2015. 11. 19 卒塾後の懇親会風景)

## 7. 8期生の受講後の感想（卒塾時アンケート、詳細は別紙御参照）

卒塾時に実施したアンケートを抜粋して、以下に掲載します（順不同）。

塾生の挑戦の数々とその成果は数値化できるものではありませんが、塾生の「自立」「挑戦」「貢献」を強く意識して運営されている塾の成果として重要な要素と考えております。

### <Q. 入塾後初めてチャレンジしたこと、自分に変化が起きたこと>

- (1) グループワークを初めて体験した。
- (2) 様々なグループのアイデアの出し方、事業の具現化を知ることができた。
- (3) 目先のことではなく、中長期にわたり俯瞰して計画を立てることの重要性を知った。
- (4) 事業計画を立てたこと。
- (5) 事業計画発表など、人前でプレゼンした。
- (6) 壇上で発表した経験。
- (7) Powerpoint が使えるようになった。（入塾していなければ一生使えなかったと思う）
- (8) せと・しごと塾関係のイベントに出かけ、卒業生の方と交流を持つようになった。
- (9) 人とのつながりが広がった。
- (10) 刺激となる人が周りにたくさんできた。
- (11) 仕事を共にする仲間の大切さを痛感した。
- (12) 無料セミナーに初めて参加した。これからもできるだけ参加していきたい。
- (13) セミナーの場に積極的に行くようになった。
- (14) 塾に参加しなければ接点のないような方々と出会うことができた。
- (15) 自分から市長に話しかけることができ、良い経験となった。
- (16) 情報発信の大切さを知り、考え方が変わった。
- (17) 起業に対してどこか甘い考えがあったことに気づかされ、姿勢が改まった。
- (18) 自分の行っている事業と同業者の事業の違いをかなり考えた。
- (19) 自分を相対的（客観的）に見ることができた。
- (20) ホームページを自分で作った。
- (21) ほんの少しだけ、苦手なことに早く取り掛かるようになった。
- (22) しごと塾で学んだことにより、現在も仕事上のプランニング、商品開発においてアイデア出しのツールなど具体的に考えてから動くようになった。
- (23) さまざまな書類を書くことを経験できた。
- (24) 自分のやりたいことを深く考えるようになった。
- (25) 起業することは楽しいが、リスクもあることを真剣に考えるようになった。
- (26) やって見なくては始まらないという前向きな思考を持てるようになった。
- (27) やりたいこと、言いたいことをはっきり伝えるという意識が持てた。
- (28) 準備を怠らないという意識が持てた。
- (29) 動くとも周囲が変化し、人とのつながりの中で仕事が生まれてくる楽しみを体感できた。
- (30) 瀬戸にしごと塾の仲間がたくさんできて、瀬戸に住むことを楽しめるようになった。
- (31) 自分の仕事を通じて、ここでがんばろう！と思えた。
- (32) 企画書を書けるようになった。
- (33) 自信がついて、（本業の）プロとしての意識が強くなった。

<Q. 入塾してみていかがでしたか？ 塾で自分にとって良かったものは何でしたか？>

- (1) 現在の仕事のあり方を見直すことができた。
- (2) 講座の内容はとてもためになることばかりだった。
- (3) どの座学も甲乙つけがたく、すべてがとても勉強になった。
- (4) 長く個人で仕事をしてきたため、他の人と一つのテーマについて一緒に考えるという機会が少なく、しごと塾での体験はとても貴重なものとなりました。
- (5) 自分の事業テーマでグループワークをしたときに、自分では思いつかないアイデアを提案してもらえて、とても勉強になった。
- (6) 発表を大きな会場でしなければならぬことを知った時に入塾したことを少し後悔しましたが、やり終えた今は、とても良い経験ができたと思っています。
- (7) 先生方の「聴く人を飽きさせない工夫」や「仕事に対する姿勢」等が勉強になりました。
- (8) 卒塾後も先生方に相談できる体制もありがたいです。
- (9) とても良い繋がりができました。
- (10) 経営者として自分の足りていないところがよくわかりました。
- (11) すべてが初めての事でしたが、全体を通して良かった。
- (12) 8期生で入塾できて良かったと思っています。
- (13) 志の高い人ばかりで、卒塾した今でも良い刺激を受けています。
- (14) 仲間ができたことが良かった。
- (15) グループワークでメンバーの事業計画を一緒に考えるのが良かった。
- (16) 入ってよかったです。勉強にもなったし、先生や事務局伊藤さん、そして素敵な仲間ができました。
- (17) ワークと面談が良かった。
- (18) 凄く勉強になりましたし、参加出来て本当に良かったと思います。
- (19) 講師の方々の体験談などはどれも分かりやすく、共感でき、貴重なお話を聴けました。
- (20) グループワーク、プレゼンテーション講座も良かった。
- (21) 苦手分野の事業計画や税務は、自身にとって必要なことでしたが、座学としては楽しむというより必死でした。
- (22) 創業、開業に必要な基礎知識なども、改めて開業してからでも見直すきっかけや学ぶきっかけとなりました。
- (23) 個性豊かで素晴らしい講師の方々に多くの知見を見て、聴いて、体験させてもらい、しごと塾ならではのメリットもたくさんいただいた充実した学びの時間でした。
- (24) 卒塾のときに大学卒業以来の表彰状をいただき、とても感動しました。この感動を忘れず、今後繋がるよう頑張っていきたいと思っています。
- (25) しごと塾が今後も継続し、たくさんの塾生が瀬戸から活躍するスパイラルが広がり続けることを願います。本当に感謝しています。
- (26) あっという間で、もっと勉強したい感じがした。
- (27) 勉強する機会を得て、素晴らしい講義が聴けて良かった。
- (28) 自分以外の人に、自分の夢をふくらませていただけた。
- (29) 先生方との出会い、仲間との出会いは本当に大きかった。背中を押してもらい、足元

を照らしていただいているようなありがたい感覚がありました。

(30) 「やらなくてはならない」という責任感も感じました。

(31) 伊藤さんがいつも後ろで支えてくださっていたのは本当に大きな力だったと思います。

(32) 失敗の話が聞けたのが良かった。

(33) 先生や仲間ができて、今後の自信に繋がりました。



8期生の店舗をお借りしてのPR写真撮影会の一コマ



アイデア出しのワーク「セブンハット」の発表風景



卒業式の新聞掲載記事 (2015. 11. 20 中日新聞)

## 8. 課題（平成28年度、第9期に向けて）

第8期を終えて、課題や更なる改良点も残されています。以下に列挙します。これらの課題を解決すべく、支援体制を構築していきたいと思えます。

- (1) 塾生が、より考え、行動するようになるための工夫
- (2) 事業計画書のフォームをブラッシュアップ（より使いやすいものに）
- (3) 冊子「起業の50ステップ」の改良（毎年変化を加えています）
- (4) 平日開催の問題（平日だと会社員は参加できない）
- (5) 卒塾した1期生～8期生の参加をどう促すか（引き続き塾に関与してもらう仕組み）
- (6) 居心地良い場所からの巣立ち（居心地が良すぎると、保守的になってしまうことも）
- (7) 募集の工夫（入塾前後のギャップが少ないように）
- (8) 周囲への貢献意欲が増すよう、更なる工夫
- (9) 営利事業とコミュニティビジネス、市民活動が混在する問題  
（「地域の課題を解決」という条件をつけた塾であり、顧客が地域外になる比較的規模の大きな事業を構想している起業家は、しごと塾に入りづらい）
- (10) 成果の数値化、可視化の工夫（起業支援における、金銭以外の評価軸の確立）

## 9. 最後に

せと・しごと塾も、これで8期を無事に終えることができました。

8期生のみなさまは、開講時より良好な雰囲気形成していただき、お互いを叱咤激励し、伸ばし合う動きが随所に見られました。理想的な起業コミュニティと言えます。ここに集団の中で創業に関する学び合いを行う意味があります。独りで創業準備をしては得られないことです。

ただ、事業計画書を完成させることが目的ではなく、これを実行に移して、社会の中で受け入れられる（つまり営利事業の場合は「お客様を得て、お金を稼ぐことができる」）ようになることが重要です。「身の丈に合った起業」ではなく、今までできなかったことに果敢に挑戦していただきたいと考えています。夢や目標を実現するために、何をするのが最も良いか、最高の成果を出すにはどのように行動すべきかについて、もっと深く考えてほしいと願っています。

とは言え、せと・しごと塾の大きな特徴である、「人がこれだけ変わり、行動するようになる」、そして「周囲への貢献意欲が増し、街が明るく元気になる」ことは大きな財産です。引き続き、塾生の絶え間ない挑戦、そして継続的に事業をブラッシュアップする雰囲気を形成したいと考えています。

今後も地域、そして社会全体を元気にする人たちを発掘し、塾生のみなさまが力を発揮できる環境づくりのお手伝いをしたいと思いますので、関係者のみなさまにおかれましては、引き続きご理解ご協力のほど、お願い申し上げます。

せと・しごと塾 塾長 小坂 英雄